

福岡県知事賞 三代目の決意

福岡県八女市
八女市立矢部中学校3年

石川 峰樹

一般的に「農業」、「林業」と聞いてみなさんは何を思いうかべるでしょうか。自然に関わる仕事、大切な仕事と思う人もいると思いますが、若い人で将来農業、林業をしたいという人は少ないと思います。

私の住んでいる矢部村では、たくさんのお田んぼや畑があり、山では林業もさかんです。

そんな矢部村で、私の家は、植木屋という、植物を市場に出荷する仕事をしています。

私は中学三年生になるまでは、パソコンを使う仕事があったと思っていました。でも三年生になって自分の将来について、いろいろ考えると将来ロボットや人工知能が発達しても無くならない仕事がしたいと思うようになりました。

植木屋の仕事は、クレーンやショベルカーなどの機械は使うけれど、機械に仕事をうばわれる心配はありません。

また、祖父の代から続いていて、広い土地や道具、機械もたくさんあるので二代で終わらせてしまつてはもったいないと思い、植木屋を継ごうと決めました。

でも、植木屋の仕事は楽ではありません。自然が相手なので、仕事ができないこともあります。また、景気に左右されやすいので、たくさん売れたり、なかなか売れなかったりします。

でも、自分の関わった仕事でマンションやビルの多い都会に、少しでも植物が活用されるということは、とてもうれしいことだと思います。

私は植木屋の仕事を継ぐための勉強をしたいので、一度は矢部を出ることになるかもしれませんが、また矢部に戻ってきて植木屋をしたいと思います。

また、農業、林業をする人が少なくなっている中で、自然を守るため、農業、林業を守るために私は植木屋を継ぎたいと思います。